

園長	主任	担任

<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友だちとの関わり合いを楽しみながら、遊ぶことを十分に楽しむ。 ・一人一人が自分の思いを伸び伸びと表現する楽しさを味わう。 ・秋の自然の変化や彩りに親しみ、遊びに取り入れて楽しむ。 	<p>子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机拭きなどクラスの生活に必要なことを自分たちでやろうとしている。 ・どんぐりや木の実を使って遊ぶことを楽しんでいる。 ・友だちに、自分の思いを主張する子どももいれば、なかなか思いを言葉に表せない子どももいる。 	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日 父母会主催お楽しみ会 2日 4、5歳バス遠足 8日・22日 英語で遊ぼう 20日 おはなし会 21日 身体測定 30日 避難訓練
<p>内容</p>	<p>環境構成</p>	<p>保育者の援助及び配慮</p>
<p>養護○生命・情緒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温や活動に合わせて衣服を調節する。 ・一人一人が安心して快適に過ごす。 ・避難訓練に参加し、危険から身を守るようにする。 ・異年齢で関わりながらごっこ遊びを楽しむ。 ・鼻水が出る時は、自分で気付きティッシュで拭こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温、湿度に留意し、保育室内の環境を整える。 ・活動のバランスを考え、休息の時間を設ける。 ・保護者から家の様子を聞いたり、子どもの様子を見る。 ・様々な危険を想定し、安全に避難できるようにする。 ・散歩などを通して、異年齢で関われる機会をつくる。 ・手洗い場の安全点検をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の体調の変化を見逃さず、視診や触診をこまめにする。 ・また、異常があった時は適切に対応し、看護師と連携をとる。 ・衣服の調節が出来るように、気温や日頃の子どもの服装を考慮し声を掛け、調節できるようにする。 ・自分の思い・持ちがいつでも出せるように、表情や態度に応じて声を掛けて思いをきいていく。 ・避難訓練の意味や大切さ・必要性を、絵や図など用いたりして分かりやすく知らせていく。
<p>教育○健康・人間関係・環境・言葉・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみに気付き、整えようとする。 ・公共のマナーや安全に気を付け行動する。 ・お手伝い活動を意欲的に行う。 ・身体の異常について自分から保育者に伝える。 ・友だちと一緒にルールのある遊びを繰り返し楽しむ。 ・友だちと関わる中で、相手にも思いがあることに気付く。 ・自分の思ったこと、考えたことを言葉や動きで伝えながら遊ぶ。 ・遊びの中で友だちの動きや言葉に関心を持って聞こうとする。 ・自分で材料を選び、イメージに合わせて見立てたり、工夫したりしながら遊ぶことを楽しむ。 ・慣れ親しんだ材料や用具の新しい扱い方を知り、遊びに取り入れる。 ・友だちの遊びや作った物に刺激を受けたり、自分もやってみようとしたりする。 ・木の実や落ち葉を集めたり、遊びに使ったりして、色・形・大きさに興味をもつ。 ・木の葉の色づきの美しさに気付いたり、落ち葉に触れて感触を楽しんだりする。 ・秋を感じる歌を歌ったり、絵本を見たりすることを友だちと一緒に楽しむ。 ・寒さを感じ、健康に関心を持って、手洗い・うがいをする。 ・絵本や紙芝居を通してイメージを広げる。 ・季節の歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類のたたみ方などを知らせ、自分からできるよう伝え見守る。 ・鼻をかむティッシュペーパーの設置をする。 ・散歩では、2人組で手を繋ぎ、事故・ケガのないようにする。 ・お散歩先では遊び方が違うので、危険のないように場所をわけたり、注意したりして見守る。 ・慣れ親しんだ材料の様々な使い方を知らせたり、素材や用具の特徴や特質を感じられるようにしたりする。 ・自分の思ったものや友だちの作ったもので繰り返し遊べるよう、自分たちで出入りしやすい置き方を工夫する。 ・新しい素材を使ったり試したりする楽しさを味わえるように、個々で取り組めるように場や時間を十分にとる。 ・遠足先のパンフレットや情報がわかるようにし、期待が持てるようにする。遠足後も共通の体験として遊びに取り入れられるようにする。 ・子ども同士の関わりあいの様子(言葉、表情、態度)を見て援助を考慮。 ・ルールのある遊びを取り入れる。(はないちもんめ等) ・絵本コーナーの本は、時期にあったのもや、興味を持ちそうな本か点検する。(木の実や落ち葉の絵本等) ・秋を感じられる絵本や歌を取り入れ、クラスの友だちと一緒に楽しめるようにする。季節の歌を歌う場を設けていく(山の音楽家等) ・廃材など様々な素材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものつぶやきを逃さず、思ったことや考えたことなどを大切ににして、保育者も一緒に遊びを楽しむ。 ・友だちと一緒に全身を動かして遊べるような遊びや、ルールのある遊びを取り入れる。その中で、友だちの動きにも気付けるように言葉を添えたり、見守ったりして、一人一人を受け止めていく。 ・自然物や身近な出来事について、感じたことや気づいたことを言葉にして表現する姿を受け止め、共感していく。 ・子ども一人一人の思いを聞き受け止めながらも、相手の気持ちも分かりやすく知らせ、どうしたら仲良く遊べるか考える時間も設けていく。 ・子ども同士の会話は、温かく見守り様子に応じ言葉を補い、相手に伝わる嬉しさが感じられるように援助する。 ・自分の思いが相手に伝わるような言い方を、具体的に保育者が知らせていく。 ・遊びやゲームをする時は、応援する気持ち、勝ったことの嬉しさを共感したり負けた悔しい思いを十分に受け止め、次の挑戦への意欲へと繋げていく。 ・日頃より、なぜ挨拶が大切な、必要性を知らせる。 ・公園で拾ってきた自然物などを、一緒に数えたり大きさを比べたりする場をもうけ、子ども達の気付きを大切に、様々な違いに興味をもてるようにする。 ・絵本やお話会、紙芝居や言葉遊びを楽しむ機会を設け、保育者も一緒に楽しむ姿を見せていく。
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の時間やマナーを守ろうとする。 ・苦手な野菜や食べものを食べてみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食で絵本に出てくる献立の食材が出た時は、目で見て興味関心が持てるようにしていく。 ・落ち着いて食事をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気や姿勢を考慮し、姿勢や食具の持ち方やマナーを知らせていく。 ・友だち同士の話に夢中になっているときは、その都度声をかけて喫食するように促す。
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>月の反省</p>	<p>自己評価</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが身近な素材や材料を自分で選び、遊びに取り入れている姿や感じたことを自分なりに表現している姿をクラス便りなどで具体的に伝えるように工夫する。 ・友だちへの関心が高まっている時期なので、関わりの中で子どもの思いの行き違いからトラブルになることがある。子どもの姿や保育者の援助、遊びを通して関係が広がっていくことをわかりやすく伝えていく。 		